

白十字病院 だより

2023. 冬発行 Vol.04



白十字病院 公園側

巻頭特集

高度画像センター

年間検査件数、約 17,600 件。積極的に ICT に取り組み、ネットワークを使用した、連携医との情報共有を展開。

TOPIC

“Student Doctor”

医学生の卒前・卒後のシームレスな医師養成制度

/ 救急医療にも貢献 “IVR” 治療

放射線科医が施行する低侵襲治療

白十字病院の SDGs

わたしたちの町のホームドクター

今春オープン：看護小規模多機能ホーム

詳しい病院情報ホームページはこちら

<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/>



新年明けまして おめでとうございます

昨年は大変お世話になりました。
今年も何卒よろしく願いいたします。



社会医療法人財団白十字会
理事長
富永 雅也

「ホップ、ステップ、ジャンプ」

白 十字病院は2021年4月に新築移転と分院化が完了しました。新病院という素晴らしい環境と福岡大学、九州大学からの力強いご支援・ご指導を頂き、医療の質の充実ぶりは予想をはるかに超える素晴らしいものとなりました。白十字病院では地域住民の高齢化に伴う高齢者特有の疾患の増加に対し、高度でありながらも低侵襲の医療の提供が可能となり、2022年4月から福岡大学病院脳神経外科前教授の井上亨脳卒中センター長、長崎大学病院心臓血管外科前教授の江石清行心臓・弁膜症センター長にご就任頂き、大学病院に勝るとも劣らない高度で患者さんに優しい手術が激増し、福岡県下はもとより九州全域から高いご評価とご紹介を頂いております。この二つのセンターの活躍に刺激され、瀬野病院長の指揮下、院内全体が活気に溢れ、明るく輝いています。白十字リハビリテーション病院は、2022年9月に増改築工事を終え、リニューアルオープン致しました。新型コロナウイルスの影響で、病棟運営が制限される中でも、阪元病院長の熱い患者さんへの想いを受け止め、順調な滑り出しを迎えています。地域包括ケア病棟は在宅患者さんの受け皿として、最高ランクの基準を満たし、この4月にオープンする看護小規模多機能居宅介護と共に地域の拠点病院としての活躍を期待されています。分院後のこの2年目はまさにステップの2年目、兎年の新年度のジャンプにつなげましょう。

MASAYA TOMINAGA

「災禍の中での白十字病院」

新 年明けましておめでとうございます。コロナ感染を心配しながら迎える新春も3年目となりました。皆様は、穏やかに新しい年を迎えたいことが出来たでしょうか。白十字病院は、コロナ流行第一波の2020年4月以来、2022年12月までの2年9カ月の間に280名強のコロナ患者さんの入院治療を行って参りました。新病院移転直前から直後、ずっとコロナとの闘いの中でありました。その不安定な状況の中にあっても、地域の人たちをコロナから護り、救急患者を助けるという使命感の下、一致協力して途絶えることなく医療を提供できたことに、病院長として安堵すると共に、職員ひとり一人に敬意を表したいと思います。一方、この間、コロナ用病床確保のため、一般救急用の病床が不足し、受け入れが十分できなかったこともありました。この場をお借りしてお詫言申し上げます。現在、病原性の弱いオミクロン株が蔓延しておりますが、重症化する人は少なく、近いうちに集団免疫が確立されてくるはずで、新型コロナウイルスは、インフルエンザと同様に扱えるウイルスとなるか姿を消すか。感染拡大の終息を心から望みます。そして、今年は、これまで大切にしていたことを、再び大切にできる年になると信じています。白十字病院は、更に病院の総合力を上げて、地域医療に貢献できるよう鋭意努力して参ります。コロナ禍が終息し、皆様のご健康で、実り多き一年となりますように祈念致します。



社会医療法人財団白十字会
白十字病院
病院長
瀧野 泰秀

YASUHIDE FUCHINO

「白十字会」名称の由来

(白十字病院 寄稿文)



福岡大学脳神経外科名誉教授
白十字病院 脳卒中センター長
井上 亨

2022年4月に白十字病院に赴任してから半年が過ぎた。北海道帯広に講演に呼ばれた時、旧友の座長から思わぬ質問を受けた。「白十字病院は赤十字病院と関係あるのですか?何故白十字なのですか?」恥ずかしながら、名称の由来を知らなかったの、すいません勉強しときますと即座に返答した。帰ってから、広報課に尋ねたらあっさり「分かりません」との返答であった。

そこで、「白十字」をネット検索してみると、脱脂綿・包帯・紙おむつなどを生産している白十字株式会社(医療と介護のトータルヘルスケアカンパニー)が出てくる。この会社を紹介したウィキペディアには「治療を表す赤十字に対し、白十字は介護を表すと言われる」と記されているが、当院の名称の由来とは異なる気がする。いわゆる白十字病院は、当院以外にも社会福祉法人白十字会東京白十字病院(東京都)、社会福祉法人白十字会白十字総合病院(茨城県)が存在する。病院以外では白十字薬局(東京、福岡、大阪、大分、鹿児島等)、株式会社白十字(ケイキ・お菓子(岡山県)などが検索される。白十字が介護を意味するのであれば薬局などに多く使用される名称なのは頷ける。

それでは、当院の名称の由来は何であろうか。白十字病院の発展に尽力された古賀恒樹相談役に伺ったところ、詳細なメモと一緒に「医療法人白十字会の70年」記念誌(1999年発行)を見せて下さった。記念誌によると、初代富永猪佐雄氏は、1929年に佐世保市に富永内科医院を開設され、1951年に医療財団法人白十字会を設立し理事長兼病院長に就任された。古賀相談役は、1978年に当法人に就職してまもなく、当時法人事務局長専務理事であった朝長則男氏(第2代理事長富永雄幸氏の従弟、2007年より佐世保市長、現在4期目)に名称の由来を尋ねられた。朝長氏は、「自分も本当の由来は正式に聞いたことがないが、初代はシユバイツァー日本友の会佐世保支部長を務められ、日頃よりシユバイツァー博士を敬愛され博愛の精神を大切にしておられた。博愛をもとに法人の名称を考えられたと思うが、案外、跡継ぎの第2代理事長富永雄幸氏の奥様である一子夫人のご実家である料亭白邸から白の1文字を取られたのかも知れない」と答えられたそうである。



医療法人白十字会
80周年記念樹(白十字病院 玄関前)



80列CT Aquilion Serve

導入は世界初!
AI 技術を活用し、「ポジショニング」、「スキャン計画」、「画像表示」の自動化技術を採用、一貫した画像結果をもたらす

- 救急部門の迅速検査に対応
- 被ばく低減による患者さんの負担軽減
- 画質改善による診断能の向上
- 高速ワークフローによるルーチン展開
- 患者さんに優しい安心の寝台設計



320列CT Aquilion One

全身の隅々まで高精度に抽出できる最先端 CT

- 検査時間を大幅に短縮
- 撮影が難しい臓器でも高い解像度の画像を撮影可能
- 3D 画像に加え、4D (3D+時間) 画像で脳血管を抽出
- 1 回転で体軸方向 160mm の範囲を撮影可能



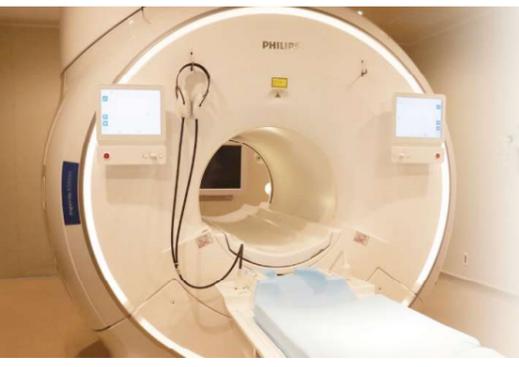
最先端機器と専門医を揃え、精度の高い診断を提供する高度画像センター

年間検査件数、約17,600件。
積極的に ICT (information and communication technology) に取り組み、ネットワークを使用した、連携医との情報共有を展開。

Ingenia3.0T MRI 3.0T

- 検査時間を大幅に短縮
- より鮮明な画像撮影が可能
- 従来見えなかった細い血管や動脈瘤の描出が可能
- 高分解能画像で特殊な検査にも対応可能
- 検査中アニメーションが投影され、患者さんの不安や緊張を解消 (SensaVue : センサビュー)

診断クオリティの向上と検査時間の短縮を可能にする新システム



SensaVue (センサビュー) MRI検査中のストレス緩和



当院MRI装置はMRI装置特有の閉塞感や検査時間によるストレスを緩和する為に SensaVue (センサビュー) を導入しています。検査中に目の前に設置された鏡を通して、外部に設置されたモニターの映像を見る事が出来るシステムです。(一部の検査では使用できません) これまで利用された多くの患者様から好評いただいております。



当院では、新病院開院時より最先端技術を導入した高品位の医療画像を提供する部門として、高度画像センターを設立いたしました。当院内各診療科や近隣クリニックの先生方が、診断・治療を進める上で必要な画像情報の提供を、迅速・正確に行う事を目的としております。主軸となる画像診断装置として、320列CT一台、80列CT一台、3.0T MRI一台を新規導入しています。いずれの装置も、各メーカーのフラッグシップ機の技術を搭載したハイスペックモデルとなっております。撮像された画像データは、最新コンピューター画像再構成技術と併せて、各診療科からの多様なニーズに応じた画像形態で提供しています。

具体的には、各疾患の診断・治療・手術を行う上で有益となる3D画像の構築などです。このような撮像環境で、年間CT約13,000件、MRI約3,800件を超える画像検査を行っています。当然のことですが、検査を受けら

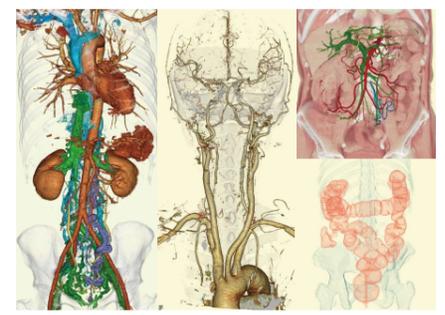


放射線技術部 部長
中島 力哉
RIKIYA NAKASHIMA

れる方々にも十分に安心していただける環境を整えております。落ち着いたある待合スペースを用意して、待ち時間から撮影、お帰りのいたくまでリラクセスできる空間・環境づくりを心がけています。感染対策にも十分配慮し、手指消毒をセンター内各所に配備しており、検査の間には机・ソファ・手すりなどへこまめに消毒散布を行っています。また、当センター区域・検査室内は自動的に常時換気をしています。常に安全・安心な環境整備に配慮し、良質な医療画像提供ができるようスタッフ一同努力して参りますので、当センターの働きにどうぞご期待下さい。

本年4月より放射線科・高度画像センターの顧問に就任しました宇都宮です。

当センターは一昨年の新病院の開院に併せて、最新鋭の高磁場(3.0T)MRI、多列(80列、320列)検出器CT、SPECT診断およびIVR治療用血管造影装置など文字通り高度画像診断機器を設備し開設されました。その目的は診療の質の向上にあることは言うまでもありません。一方で、高度画像診断機器の導入は日常診療における画像診断の重要性がこれまで以上に増し、その責任がいつそう大きくなったと言うことでもあります。精度の高い画像診断が検査を受ける患者さんのみならず、医師や病院にとっても必要不可欠なリスクマネージメントであることは論を俟ちません。今後も日々発生する膨大な画像情報に臆することなく、これらを直接診療にあたる臨床科と共有しつつ、迅速かつ的確な治療方針の決定に寄与していけるよう、放射線科スタッフ全員で精進していきたいと思っております。



「リスクマネージメントとしての画像診断」



高度画像センター顧問
前帝大医学部放射線科 診療放射線学教授

うつのみや ひでつな
宇都宮 英綱

- 【専門分野】 神経放射線医学
- 【専門医・認定医】 日本医学放射線学会放射線診断専門医
- 【略歴】
 - 昭和55年 福岡大学医学部放射線科入局
 - 平成13年 米国ロチェスター大学 神経放射線科(在外研究員)
 - 平成19年 福岡大学医学部放射線科准教授
 - 平成20年 国際医療福祉大学大学院放射線情報科学分野教授
 - 平成28年 社会医療法人慶仁会高槻病院 小児神経センターセンター長
 - 平成31年 帝京大学医学部放射線科学講座病院教授
 - 令和3年 帝京大学医学部放射線科 診療放射線学教授
 - 令和4年 白十字病院放射線科 高度画像センター顧問就任
- 【趣味】 ゴルフ

白十字病院のSDGs



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



9.産業と技術革新の基盤をつくろう

白十字病院のデジタル化による変革

『医療DX』

「どうして病院はこんなに不自由なんだろう」、そう思った方は少なくないと思います。長い待ち時間、わかりにくい案内、スタッフを呼んでもなかなか来ない。病院は「ヒト」に加え、「病気」という非常に不確実なモノを相手にしているために、すべてが時間通り、思い通りには進みません。そんな中、働き方の変革のためにDX (digital transformation) が役立ちます。

ほとんどの病院ではコミュニケーションツールとして電話を使っています。一方、日常生活ではどうでしょう、電話連絡を行うことはほとんどなく、スマホでのメッセージがほとんどではないでしょうか？電話による、待ち時間や相手の時間を奪ってしまうことの不自由さがわかっているからです。様々な病気の患者さんが入院している急性期病棟では、職員は患者さんのケアのみならず、業務連絡で院内中を歩き回ることも多く、アナログ対応による非効率な業務では疲弊してしまいます。われわれが「日常」で多くの恩恵を受けている

はずのスマホを中心としたICT化が、実は「病院」ではなかなか実現化されていません。

iPhoneでのメッセージ機能を活用

現在、白十字病院ではすでに職員用iPhoneが導入されており、脳卒中センターを手始めに院内メッセージ機能の充実化を図っています。それにより、1対1のコミュニケーションのみならず、グループチャットによる情報共有で、さらに多くのコミュニケーションを生み出すことができます。それがさらなる協働を促進し、業務の効率化、働き方改革に繋がります。また、ペーパーレスシステムや電子処方箋、マイナンバーカード導入などのデジタルシフトをすすめています。病院の医療DXは、最終的に患者さんの医療に対する不自由さを解消させ、医療の質を高めてくれるものと信じています。2023年、白十字病院DXセンターは「日常を病院へ」を合言葉に、白十字会のDXをさらに進めていきます。

(DXセンター長/脳神経外科部長 福田 健治)



※写真はイメージです

4 質の高い教育をみんなに



4.質の高い教育をみんなに

～今まさに必要としている子供たちへ想いと共に～

企業の社会的責任(CSR)活動 『寄付活動』

まだまだ使用できる文房具、ランドセルなどの不用品…余っていませんか？定期的に当法人職員に呼びかけています。

白十字会グループは、2009年度から「企業の社会的責任(CSR)」を果たすため社会貢献活動に取り組んでいます。取り組みの一つに、『文房具寄付活動』を行っています。

現地で大人気のランドセルなどを寄付

日本では、使わなくなったランドセルを大切にしておいてある方が70%を占めているそうです。思い出の品を、今必要としている子供たちへ届けたい、という思いに賛同した職員がランドセルや鉛筆、その他たくさん文房具用品を寄付しています。集められた文房具は、「教育支援による貧困の脱却」を活動理念に掲げる一般財団法人NPO法

人JIYUを通じて、ベトナム・カンボジアなどの学校や施設に届けられます。

寄付している主な地域は、貧困などで十分な教育を受けることができず、将来の夢を諦めてしまう子供たちが多く、物資も足りなければ、教師も不足しているのが現状です。中には本屋もなく図書館もないため、寄付される本で勉強する程度の地域もあります。勉強をしたくても出来ない子供たちへ、少しでも勉強ができる環境をと、私たちが積極的に活動に参加しています。実際に寄付された文房具やランドセルを手にとった子供たちは、キラキラした笑顔でとても感謝しており、嬉しそうだったとの報告があります。

今まで使っていたものを届ける、とても簡単で身近な寄付。どこかで困っている子供たちを笑顔にでき、夢を応援できる素敵な寄付。当院のボランティア委員会では、これからも「自分にもできる」をモットーに、様々な活動を続けていきます。



ランドセルを手にした子供たち

写真提供:NPO法人JIYU



集められた文房具→

寄付した文房具用品 (2021・2022年度合計)

- ランドセル…8個
- 鉛筆(新品)…81本
- 色鉛筆(新品)…19本
- シャープペンシル…15本
- ボールペン(黒・カラー)…185本
- ペン・マーカー(黒・カラー)…123本
- 消しゴム(新品)…12個
- ノート…63冊
- 定規…7本 など

～医学生卒前・卒後のシームレスな医師養成制度～

“Student Doctor”

白十字病院は医学生の学外臨床実習を受け入れています

クリニカルクラークシップとは、医学生が医療チームの一員として実際の診療に参加し、より実践的な臨床能力を身に付ける臨床参加型実習のことです。臨床実習を行うにあたり、備えておくべき知識・技能・態度を身につけていることが認められた医学生はスチューデントドクターとして認定され、指導医の監督指導の下、一部の医療行為が行えるようになります。

当院では2022年10月より福岡大学医学部5年生の学外クリニカルクラークシップの受け入れを開始し、1ターム2週間に2～3人のスチューデントドクターが、診療チームの一員として、外来・病棟診察、エコーや内視鏡などの検査、手術、カンファレンス等に参加をし、実際、縫合や問診などを行っています。

また、当院独自のカリキュラムとして、救急外来での夜間の救急実習や、白十字リハビリテーション病院での電気刺激やロボットを使ったリハビリの見学体験も組み

込み、大学院とは違った様々な経験及び能力形成ができるような良質な実習を実施しています。

白十字病院では、「良き臨床医」を育成するためにクリニカルクラークシップは必要不可欠な実習と考えていますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

学生の感想

今回の実習では1対1の指導を受け、様々な病気や手技を目にすることができ、大学ではあまり味わえない実習を行うことができたと思います。先生方が気さくに話しかけてくださったので勉強以外の話をしたりたくさんコミュニケーションをとることができ楽しく実習を行うことができました。学習以外の面では、病院の方々とは違う時に皆さんがあいさつをしてくださったため病院の雰囲気がとてもよく、いいなと感じました。



実施が許容される医療行為の例示 (指導医の指導・監視の下)

- 診療…診療録作成など
- 治療…患者の処方など
- 一般手技…皮膚消毒など
- 外科手技…清潔操作、皮膚縫合、抜糸、手術助手など
- 検査手技…尿検査、超音波検査(腹部)など
- 救急…一次救命処置、気道確保など

～放射線科医が施行する低侵襲治療～

救急医療にも貢献“IVR”治療

脳・心・大血管に加えて、全身のIVR治療が可能となりました！

IVR治療とは？

IVRはインターベンショナル・ラジオロジー (Interventional Radiology) の略で、画像下治療という和名があり、一般的に「カテーテル治療」や「血管内治療」とも呼ばれています。X線透視や超音波、CTでリアルタイムに観察しながら体内に細い管(カテーテルや針)を入れて診断、治療する方法です。

IVRは局所麻酔で行うため身体にあたる負担が少なく、高齢の患者さんも安心して治療を受けられます。病気の場所だけを正確に治療でき、入院期間も短縮できるなど優れた特徴を持っています。治療できる範囲が非常に幅広いのも特徴です。私たちの体の中には10キロに及ぶ血管と多くの管(消化管や尿管など)が張り巡らされていますが、IVRではこの血管や管の「迷路」を体の外から観察しながら、カテーテルや針を走らせ、目標である病気の元に正確にたどり

着けるからです。

放射線科IVRの治療対象となる病気には、主に以下のようなものがあります。
①事故など外傷によって起こった肝臓破裂、脾臓破裂、腎臓破裂、骨盤骨折や消化管出血、喀血などの出血性病変に対し、出血を止めるための治療としてIVRを活用します。目的とする血管のみを閉塞して止血するため、正常な臓器を温存することができます。
②肝臓癌、転移性腫瘍等、さまざまな悪性腫瘍に対してIVRを用いて治療を行います。また、治療のほかにもこれらの診断/検査などでIVRを活用することもあります。
③腹部血管の動脈瘤といった血管性病変で、動脈瘤の破裂を防ぐための治療としてIVRを活用します。また肺、腎、四肢といったさまざまな臓器の脈管異常/血管奇形に対してもIVRを用いた治療を行います。



TACE(Transcatheter Arterial Chemo-Embolization) 肝動脈化学塞栓術

IVRはここが凄い!!

- 体への負担が圧倒的に少ない
…身体を切開しない・患者さんの体力消耗が少ない
- 正確である
…高い解像度の画像を用いてピンポイントで治療が可能
- 血管の詰まりやがんの治療など幅広く対応
…治療できる範囲が非常に幅広い
- 緊急対応が可能
…出血部分を素早く止血！

放射線科 IVR部長 医師

納 彰伸 AKINOBU OSAME

【専門医・認定医】

- ・日本医学放射線学会放射線診断専門医/指導医
- ・日本IVR学会専門医/指導医
- ・日本核医学会核医学専門医/PET認定医

スタッフのお気に入り

趣味を越えて

私は、小学校3年のころからボウリングをしています。始めたきっかけは夏休みのボウリング教室に参加をしたことです。その教室で、ジュニアクラブ(習い事)があることを知り、始めました。初めは習い事として、楽しむためだけにボウリングをしていましたが、4年生になって初めて小学生の全国大会に出場しました。結果は、良くありませんでしたが、その大会に出たことをきっかけに中学生や高校生の頃にはNHK杯や年齢制限のない全日本、国体などにも出場するようになりました。主な成績としては、国体で7位入賞や全日本で団体3位や個人優勝などがあります。

ボウリングは娯楽というイメージを持たれている方が殆どだと思います。私も始めたばかりの時はただただ楽しいだけの習い事でした。でも、本格的にしてみると奥が深く、会場によってレーンの板の材質が違ったり、その日のオイルの量や塗り方、湿度でボールの動きが全く違ったりします。また、同じ日でもたくさんの人が投げる事でオイルが減ったり先までオイルが伸びたりして、ボールの動きが変化して、毎回同じではないのでとても頭を使います。その中で状態に合わせてボールを変えたり、投げる位置を考えたりして高い点数が出た時の達成感がとても好きです。

白十字病院に入職して約9か月経ちますが、大会の為に休みを希望する時も同じ病棟の先輩方が調整を下さったり、声をかけて下さるおかげで、全てではありませんが出場したい大会に出ることが出ています。

今の環境は当たり前ではないと思うので、とても感謝しています。これからも続けていく事が出来るように仕事も頑張っていこうと思います。

数々の大会に参加



いいね!

- # きっかけはボウリング教室
- # 楽しじゃない
- # 入職して9カ月
- # 仕事との両立
- # 今の環境は当たり前じゃない



長尾 梨沙

RISA NAGAO

看護部

- 出身地: 福岡県飯塚市
- 趣味: ボウリング、YouTube閲覧



医療法人英慶会

三愛クリニック

○診療科: 外科・消化器内科・人工透析内科、リハビリテーション科・シャント外科・デイケア(通所リハビリテーション)

安心、安全、安らぎをモットーに地域に密着した信頼できる医療をご提供します

〒819-0373 福岡市西区周船寺2丁目12-39

TEL:092-806-1020

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00~12:30	●	●	●	●	●	●
14:00~18:30	●	●	●	●	●	●

※1)担当医師につきましてはお問い合わせください



岡村内科クリニック

○診療科: 内科・糖尿病内科・血液内科・在宅医療

患者さまお一人お一人に対して、丁寧な診療、的確な診断と治療、判り易い説明を心掛けています

〒819-0052 福岡市西区下山門3丁目1-9

TEL:092-882-7568

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00~12:30	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	●	●	●	●

★土曜午後:14:00~16:00 ※休診:木曜午後・日祝日・お盆・年末年始

スタッフの仕事

患者さんの生活に寄り添いたい

今年で管理栄養士2年目の園田です。私が管理栄養士を目指したきっかけは、毎日家族へ美味しい食事やお菓子を作ってくれる母になりたいという思いから、食品関係の高校に入学しました。そこで「栄養」という分野に興味を湧き、食事で多くの人の健康を支える管理栄養士になりたいという想いが強くなりました。

管理栄養士は、4年間大学で基礎栄養学や臨床栄養学、生化学、衛生管理学などの栄養や人体について学び、国家試験に合格することで取得することができます。栄養士は1~3年程度経験することで管理栄養士の国家試験資格を取得可能です。管理栄養

士は栄養士と違い、傷病者等の栄養状態に応じた高度な専門的知識及び技術を要し健康の保持増進の為に栄養指導、またはその他の栄養管理業務を行っています。管理栄養士は主に病院や行政、福祉関連に就業することが多く、その他にも企業やスポーツ栄養士として活躍されている方もいます。その中で私が病院栄養士を選んだのは、大学の実習で患者さんが「入院中はいいけど退院後が不安だ」という発言がきっかけでした。患者自身が自己管理をしないと意味がないことを知り患者さんの生活に寄り添った管理栄養士になりたいと思うようになりました。

現在、私は主に給食管理や個人栄養指導・集団栄養指導などの業務に従事しています。今後は病棟での栄養管理業務に携わり食事や栄養面から健康になるためのサポートを行っていきたく考えています。また、たとえ疾患があっても美味しく健やかな食生活を送れるようサポートできる管理栄養士になりたいと思っています。今後も自己研鑽し、少しでも皆様のお力になれたらと思いますので、食べ物や栄養のことで気になること等ありましたらお気軽にピンクの制服の管理栄養士にご相談ください！

管理栄養士



いいね!

- # 管理栄養士と栄養士の違い
- # 給食管理
- # 患者さんに合った栄養指導
- # 糖尿病療養指導士(勉強中)
- # ピンクの制服



園田 雄大

YUDAI SONODA

管理栄養士

- 出身地: 熊本県
- 趣味: ランニング、読書、フラットサル、ゲーム、メロンパン作り

今春オープン予定!

看護小規模多機能ホーム

ずっと一緒に

訪問介護 訪問看護 通所 デイサービス 短期入所 ショートステイ

4つのサービスがひとつに!

看護小規模多機能型居宅介護(看多機)とは?

看護と介護を一体的に提供するサービスです。「訪問看護」と「小規模多機能型居宅介護」を組み合わせたサービスで、「通い」、「泊まり」、「訪問介護」、「訪問看護」サービスを提供します。

下記のようなニーズのある方々を支援します

- 退院直後の在宅生活へのスムーズな移行
- 顔なじみの看護職や介護職が対応するので安心
- がん末期などの看取り期、病状不安定期における在宅生活の継続
- 家族に対するレスパイトケア、相談対応による負担軽減

医療法人財団白十字会 看護小規模多機能ホーム

「ずっと一緒に」 ☎092-891-2225 (代表)

RECRUIT

新規オープンにつき、職員を募集します!!

募集職種

看護師 / 介護福祉士 / 介護士

詳細はホームページ リクルートサイトへ



医療法人財団白十字会 訪問看護ステーション白十字 ☎092-891-2642(代表) 受付時間(平日)8:30~17:00

外来担当医表

2023年1月11日時点

■受診受付時間/8:45~11:30(月~金曜日)

予約 / 予約の変更 / 予約の確認 (月曜~金曜/8:30~17:00)

※時間帯予約制となっております。
事前に予約受付コールセンターで予約をお願いします。

0120-19-8912 (フリーダイヤル)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	
内科	内科	午前初診	堤 陽子(福大) (内分泌内科)	有永 豊識 (心臓血管内科)	矢次 博 (呼吸器内科)	牟田 大毅 (糖尿病内科)(第1・3・5週)/ 三戸 隆裕 (心臓血管内科)(第2・4週)	今泉 朝樹 (心臓血管内科)
	糖尿病内科	午前初診	岩瀬 正典	平田 詩乃	青谷 領一郎	牟田 大毅	井手 均
		午前再診	岩瀬 正典/ 井手 均/ 平田 詩乃	岩瀬 正典/ 平田 詩乃/ 高木 可南子	青谷 領一郎/ 牟田 大毅/ 平田 詩乃	井手 均/ 牟田 大毅/ 高木 可南子	岩瀬 正典/ 井手 均/ 平田 詩乃
	脳・血管内科	午前	徳永 敬介	熊井 康敬	坂井 翔建	由比 智裕	高島 正光
		午後再診		清原 卓也(九大)	熊井 康敬		
	心臓血管内科	午前初診	有永 豊識	松崎 将樹	今泉 朝樹 (睡眠時無呼吸)	三戸 隆裕	三戸 隆裕
		午前再診	今泉 朝樹(第1・3・5週)/ 三戸 隆裕(第2・4週)	有永 豊識	三戸 隆裕	松崎 将樹	今泉 朝樹
		午後再診					ペースメーカー
	消化器内科	午前	亀田 昌司/ 田中 悠花	亀田 昌司/ 長畑 誠修	井浦 登志実/ 長畑 誠修	井浦 登志実/ 田中 悠花	亀田 昌司
	肝臓内科	午前初診	内田 洋太郎	姫野 修一			
		午前再診			内田 洋太郎	梅田 かおる(福大)	
	腎臓内科	午前	平野 直史	木村 廣志	酒匂 哲平	平野 直史	木村 廣志
		午後再診		松島 怜央(13:00~15:00)			
	呼吸器内科	午前	濱田 直樹(福大)		矢次 博(毎週) 猪島 尚子(第2・4週)		
午後							
内分泌内科	午前	堤 陽子(福大)					
	午後					萬代 幸子(九大)	
血液内科	再診					中島 勇太(福大)	
もの忘れ外来	午後				入江 克実(13:00~15:00)		
精神科	午前	平野 羊嗣(九大)				比嘉 逸人(九大)	
	午後						
外科	外科	午前	谷 博樹/ 長野 秀紀	大石 純/ 室田 昂良	長野 秀紀/ 山門 仁	谷 博樹	大石 純
	※泌尿:第1・3木曜日午後(13:00~15:00)再診のみ						
	脳神経外科	午前	林 修司	井上 亨/当番医	福田 健治 (脳血管内治療)	神崎 由起	藤原 史明 (脊髄末梢神経)
		午後初診					藤原 史明 (脊髄末梢神経)
	心臓血管外科	午前初診		住 瑞木/ 江石 惇一郎		住 瑞木/ 國友 祐希	
		午前再診					森重 徳継(済生会)
		午後初診					
		午後再診					和田 秀一(福大)/ 尼子 真生
	乳腺外科	午前	松尾 文恵				
	整形外科	午前	小林 知弘/ 平塚 嘉香	阿南 亨弥/ 伊崎 輝昌 (福大筑紫・肩関節外来)	小林 知弘 (膝・股関節外来)/ 橋本 貴美子(福大)	藤原 紘/ 平塚 嘉香	阿南 亨弥/ 藤原 紘
	形成外科	午前	眞鍋 剛	平尾 京子	眞鍋 剛	平尾 京子	眞鍋 剛
	泌尿器科	午前	吉田 一博/ 阿部 裕典	江本 大紀/ 阿部 裕典	吉田 一博/ 丸田 紘子(女性医師)	阿部 裕典/ 丸田 紘子(女性医師)	吉田 一博/ 江本 大紀
		午後				羽賀 宣博(福大)	
	眼科	午前	藤原 恵理子	藤原 恵理子 ※予約のみ	音田 佳代子(福大)/ 藤原 恵理子※予約のみ	藤原 恵理子 ※予約のみ	大塩 聡(福大)(隔週)/ 塩谷 雅(福大)(隔週)/ 富士本 成美(福大)(隔週)
歯科口腔外科	午前・午後	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 近藤 誠二(福大)	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 眞野 亮介(福大)	嶋村 知記/青柳 直子/ 石田 晋太郎(福大)/ 豊福 明(東京医科歯科大) ※第2週のみ	
皮膚科 ※入院患者	午後					清水 裕毅(福大)	
肺がん外来	午後		徳石 恵太(福大) ※第2・4週のみ				



社会医療法人財団 白十字会
白十字病院



〒819-8511 福岡市西区石丸4丁目3-1
TEL:092-891-2511 / FAX:092-881-4491
https://www.fukuoka.hakujyujikai.or.jp/